



恋は
聖
曲

成人向

18歳未満購入不可

そう
この瞳だ

これ以上
されたく
なかったら

もう
俺に
構うな

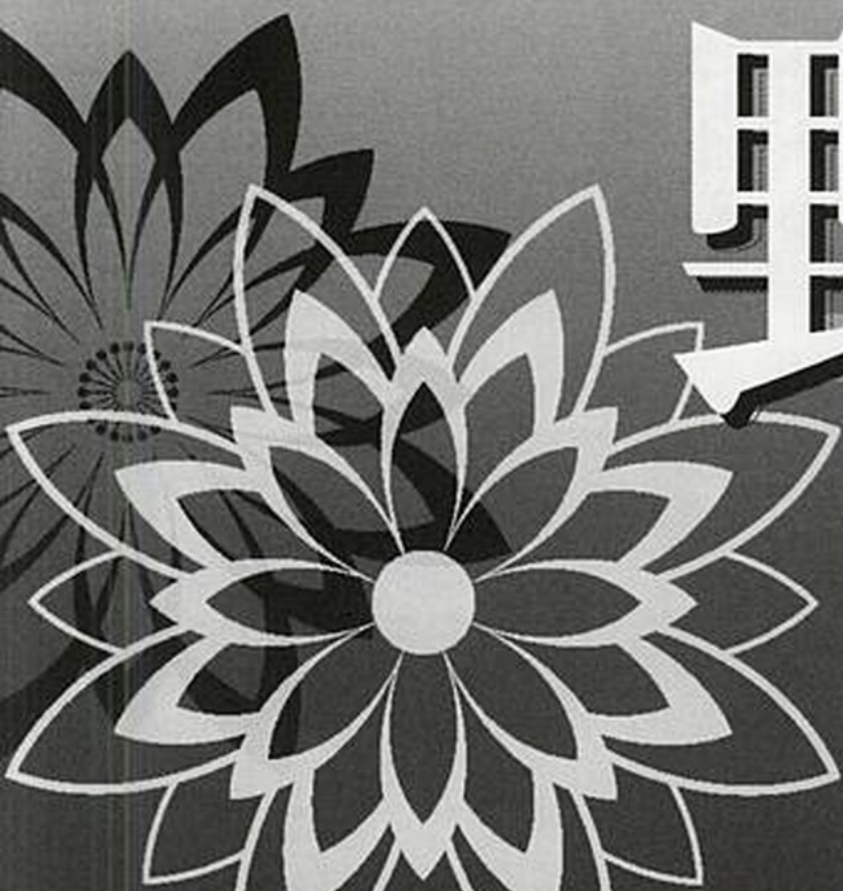
この瞳に
すくも
僕は

恋

は

野

蛮



彼が顕現された時の事は
はっきりと覚えている

新入り？

うん今朝
鍛刀してたのが
二振り出来たんだって

今いるみんなまで
お迎えしようって

肉体を得て
目まぐるしい毎日は

兄弟のどれかだと
いいな
楽しみっ

みっちゃんはあるの？
来たらしいなっての

早く
早く！

うん
もうすぐ終わるから
少し待って？

じゃあ
手伝うから
早く！

何もかもが新鮮で
充実していたし
楽しかった

うーん：
そうだな

お待ちせー
…って

もう呼び出し
ちゃったの…!?

あっ

エー…

だけど

乱くん
燭台切さん
紹介しますね

新しい仲間の
五虎退と

彼が現れて

大俱利伽羅よ

世界が
また色付いたのが
わかった

大俱利伽羅……!

久しぶりだね
また君に会える
なんて……

僕は結構前から
ここにきててね

光忠

おやこちらも
感動の再会かな

なんだい
何でも聞いてよ

あ
お菓子食べる?
ずんだ餅あるよ

俺は誰とも
慣れ合うつもりは
ない

え……?

たとえ
昔馴染みの
あんたとでもだ

俺に構うな



は...?



ちよっと
待ちなよ

来たばかりで
何もわからないくせに
何処行くんだ...!

ごめんね
みんな

ちよっとマイペースな
うっかり屋さんなんだ
僕から言っただけだから!



.....

くりから-!

何あれ

何だ
あの態度は

また変なの
来たな...

なかなか
面白そうだね

まあ...

燭台切さんに
任せておけば
大丈夫でしょう

もう
勝手な事しちゃ
だめだよ？

…ああ

共同生活なんだから
最低限の決まりは
守ろう

…ああ

って言うっても
それ以外は
みんな割と自由かな

うーん…大体
説明したかなあ

あと君
僕と同室だから！

なっ…

嫌なの!?

ひどい!
倶利ちゃん!!

やめろ…

案内は
もういい

放って
おいてくれ

えっ

あっ
夕餉は暮六ツ
だからね

ちゃんと
広間に来るんだよ!?

迷子になったら
その辺にいる
誰かに聞いて…

………
わかった

………

なんであんなに
ツンツンしてるかな

僕……
……
なんか嫌われてない

まあ
まだ色々
慣れないだろうし

これからまた
打ち解けて
くればいいのか

えっ

とりあえず……
今日は
御馳走だ！

昔はもっと素直で
わかりやすかった
んだけど……



……

第3部隊
帰還

ただいまー

戻り
戻り

お帰り皆
遠征お疲れ様

ご飯もお風呂も
できてるよ

腹へった

わーい
やったー!

あー
つかれた

主は?

今歌仙が
呼びに行ってる

お土産
あるよ

おかえり
倶利伽羅

皆と
仲良くできた?

：一々
触るな

まあなかなか
前途多難では
あるけれど

：なかなか
苦戦してるな
旦那

確かに少し
孤立してるが

遠征や戦場で
特に問題が起きてる
わけじゃないし

大丈夫だと思うが
何かあるのかい？

……

うーん……

僕が知ってる
彼は

前から
物静かだったけど

あんなに頑なに
一人にいるような子
じゃなかったんだ

僕は
水戸に渡ったから
それから何が
あったかわからないけど

でもこうやって
また会えた

また一緒に
笑い合ったりしたい

……んだけど
鬱陶しく思われてる
みたいだよな

でも僕はもう
彼を一人にする気は
ないから

さ
そろそろ戻ろうか

みんな
待ってる

なーに自分の事を
気にかけてくれる奴を
嫌いなわけないさ

旦那の事は
特に意識してる
ように見えるし

そのうち
笑顔くらい
見れると思うぜ

ありがとう

しかし
旦那は意外に
情熱的だな

愛の告白かと
思ったぜ……?

俺っちも
見てみたいしな

そうだと
いいな……

えええっ
薬研くん
!?

愛の告白なんて
素敵なもの
じゃない

もっと
利己的な

随分
遅かったな

薬研くんが
変なこと
言うから…

いやいや
寝てて
いいんだけど

寝てる

いや…

ごめん
それとも
起こした？

！
起きてたのかい？

アンタは
ここの
家政婦か何か

お弁当の
下ごしらえしてた
思いの外時間が
経っててね

明日朝から
遠征出発する
部隊のために

ええっ

違うよ
確かに厨は
任されてるけど

刀を持つてる所は
見たことがない

ちよっぴ...

まあ来たばかりの
君とはまだ一緒に
出陣してないから
無理ないか...

僕は
ここでは割と
古株なんだ

だから強いよ？

なんてね
早く君と
戦に出たいな

.....

練度が高いから
雑用をしたり
世話を焼くわけか

随分と
余裕だな

またそうゆう
可愛くない事
言ってる

おいっ

まあでも余裕
かもね

人の形を貰って
体っていうものを
楽しんでるよ

自分の足で
何処へでも行ける

この腕も自由に
こうやって君に
伸ばせるんだ

……っ

ねえ
俱利伽羅の髪って
柔らかいよね

やめろっ……!!

あ……

寝る

ごめん……

待って



恐がって
なんか……っ



君は
何をそんなに
恐がってるんだ？



じゃあ

何で僕が
触ると嫌がるの

っ

なんで
いつも一人で

!?



……!!



ちよ……

何っ

くりから……っ!?

黙れ……っ

ん

ふっ

あっ

は……あ

くりから……

なん……で……

はっ

……これ以上
されたくなかったら

苛立ち

もう
俺に構うな

戸惑い

そうだ
この瞳だ

いつだって
瞳は雄弁で
僕はいつも……

怯え

孤独——

光忠……
お前何をっ……

何で……？
僕言ったよね

今は自由に君に
この腕を
伸ばせるって

ずっと俱利伽羅に
触りたかったんだ

真綿でじわじわ
締めるように

そんな君を僕に
依存させて
甘やかしたくて

やっと
君から触れて
くれたね

僕はここに
いるよ

もう突然
いなくなったり
しない

もっと
触れ合いたいよ

……くそ……っ

後悔するなよ

ははっ
しないよ



あ…っ

熱い

苦しい

ああ

んっ

ふ…
ねえ

人の体って…
すごい…っね

体を繋げる
ってこうゆう
気分なんだね

気持ちいい

んんっ…っ!

はっ

はっ…あ

全部入った…?

ああ

ここに
呼び出された時……

え……？

それから
お前を見る度に
血管の音が大きくなって
落ち着かない

触れられたら
そこから
火傷をしそうな位
熱くなってる

お前の瞳を見た瞬間
肌が泡立つのを
感じた

お前を切って
しまいたいで
衝動に駆られる

だからお前には
近付きたくなかった
んだ……っ

これは……
俺だけなのか
……？

倶利伽羅
それって……

違うよ
ほら……

僕の胸の音
聴こえない？

君にこうやって
触れられる度に

今にも
破裂しそうな
高鳴ってるよ
……？

ああ——

……んっ
これは不治の病
なん……だ……よ

今だって
熱く……ってどうにか
なりそう……

なのに……っ

僕たちは
揃って

恋 は 野 蛮

こんな
に
嬉しい
んだ
から……

なんて
野蠻な
病に
罹って
しまっ
たん
だろ
う

刀剣乱舞
大俱利伽羅×燭台切光忠

DELIAH / 吉良
PRINT:K9

20150628

kira@roselily.skr.jp
PIXIV:13600635
twitter:6arikira9

恋

は

刀剣乱舞 大俱利伽羅×燭台切光忠 DELILAH

野